

白馬村上下水道料金システム・会計システム更改業務
評価基準書

この基準は、白馬村上下水道料金システム・会計システム更改業務(以下「本業務」という。)において、参加事業者から提出された提案書等の内容を可能な限り客観的に評価するための基準を定めるものである。

1 評価項目及び配点

評価項目及び配点は、以下の表のとおりとする。

評価項目	評価内容	参照様式	配点
業務遂行能力	会社概要	様式第2号	30
	システム導入実績	様式第3号	
機能・仕様	機能確認書兼要求仕様回答書(料金)	別紙1-1	250
	機能確認書兼要求仕様回答書(公営企業会計)	別紙1-2	250
提案内容	提案における基本的な考え方	任意	300
	本業務の実施体制		
	上下水道料金システムの機能と特徴		
	公営企業会計システムの機能と特徴		
	システム移行		
	セキュリティ		
	稼働後のサポート		
	独自提案		
	プレゼンテーションのわかりやすさ、丁寧さ	—	
見積価格	システム構築費用	様式第5号	170
	保守費用	任意	
合計			1,000

2 審査方法

審査における評価点数の合計が、最も高い提案事業者を優先交渉権者として決定する。また上位者が辞退又は失格となったときは、次点の提案事業者を繰り上げて審査対象とする。

優先交渉権者は、契約締結前に当村と事前協議を行い企画提案書等の内容について合意に至らなかった場合には、次点を交渉権者とし、協議のうえ契約提案事業者を選定するものとする。なお、点数が同じ場合は以下の順で選定する。

- (1) 審査の総評価点数が同じ場合は、機能・仕様と提案内容の評価点数合計点が最も高い提案事業者を選定する。
- (2) (1)の合計点が同じ場合は、機能・仕様の点数が最も高い提案事業者を選定する。
- (3) 機能・仕様の評価点数が同じ場合は、見積価格の点数が最も高い提案事業者を選定する。

- (4) 見積価格の評価点数が同じ場合は、業務遂行能力の点数が最も高い参加事業者を選定する。
 (5) 全ての点数が同じ場合は、くじ引きで選定する。

3 評価方法・評価基準

(1) 業務遂行能力

様式2、様式3の回答内容をもとに評価を行う。

【様式2】

- ・ISO9001の取得有無(5点)
- ・ISMSまたはプライバシーマークの取得有無(5点)

【様式3】

- ・水道料金システムの導入実績(5点)
- ・企業会計システムの導入実績(5点)
- ・両システム導入の実績(5点)
- ・無線検針に対応した料金システムの導入実績(5点)

(2) 機能・仕様

別紙1-1、1-2の回答結果により評価を行う。

回答	評価基準	配点
◎	パッケージ標準機能で対応可能	20
○	カスタマイズで対応可能	10
△	別途提案で対応可能	5
×	対応不可能	0

評価点数の計算式	
①機能確認書兼要求仕様回答書(別紙1-1)の評価点数	$(\text{加算合計点数} \div \text{満点数}) \times \text{配点}$ (250点)
②機能確認書兼要求仕様回答書(別紙1-2)の評価点数	$(\text{加算合計点数} \div \text{満点数}) \times \text{配点}$ (250点)

※小数点以下第2位四捨五入

(3) 提案内容

評価内容ごとに白馬村が重視する小項目を設け、小項目の配点に対して評価基準に応じた係数を乗じ、評価点数を算出する。

評価基準	特に優れている	良い	課題がある	適さない
係数	×1.0	×0.7	×0.3	×0.0
(例)配点20	20	14	6	0

本村が重視する内容は以下のとおりである。

- ・白馬村上下水道事業の課題を理解しており、職員個人のスキルに依存しないシステムである。
- ・導入時の作業体制が明確化されている。

- ・導入までの工程が明確化されており、無理のないスケジュールである。
- ・使い勝手に配慮した UI を備え、システム応答速度に遅延がない。
- ・本村の無線検針システムの仕組みを理解しており、無線検針システムを継続する提案である。
- ・請求帳票の eL-QR(地方統一 QR コード)対応を予定している。
- ・料金システムと会計システムの連携により、事務の効率化が期待できる。
- ・消費税申告や決算統計作成の作業量縮小が期待できる。
- ・固定資産システムと会計システムの連携により、事務の効率化が期待できる。
- ・貯蔵品システムと会計システムの連携により、事務の効率化が期待できる。
- ・企業債システムと会計システムの連携により、事務の効率化が期待できる。
- ・システム移行の考え方や手順、移行時のチェック体制が明確化されている。
- ・システムのセキュリティ対策が明確化されており、不安がない。
- ・導入時の操作研修や、通常時の会計事務処理支援等、サポート体制が充実している。
- ・ハード及びシステムに障害が発生した際の復旧体制について不安がない。
- ・法令等の改正に伴うシステム変更等の対応方法について具体的な提案がある。
- ・白馬村の将来を考えた発展的な提案がある。(伝票データ電子決裁機能、クレジット収納機能等)
- ・プレゼンテーション、質疑応答がわかりやすく、丁寧である。

(4) 見積価格

様式5の回答結果により、下記計算式により算定する。

【システム構築費用】

価格評価点 = 100 点 × (最低提案価格 ÷ 当該提案者の価格)

※現行システムベンダーがシステムやハードウェアの再構築を伴わない最低提案価格を提示した場合は、次点の価格を最低提案価格として採用し、現行システムベンダーの点数は次点の価格を提案した事業者と同点とする。

【保守】

価格評価点 = 70 点 × (最低提案価格 ÷ 当該提案者の価格)

※保守費用は、本プロポーザルに係る業務委託費用に含まれない。